

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス みよしMoMo				公表日	令和 7年 3月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	利用定員に応じたスペース作りには努めている。	活動に応じて、発達支援室以外に幼稚園のブレールーム、ホール、園庭等を利用していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用定員に応じた職員配置に努めている。	利用定員に応じた職員配置に努める。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	発達支援室が2階にあるため、完全なバリアフリー化は難しい状況。	活動に応じて、利用しやすい環境となるように配慮する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	活動に応じて、発達支援室以外に幼稚園のブレールーム、ホール、園庭等を利用していく。	活動に応じて、発達支援室以外に幼稚園のブレールーム、ホール、園庭等を利用していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	静かに落ち着いて過ごせる部屋を利用するようにしている。	必要に応じて、静かに落ち着いて過ごせる部屋を利用するようにする。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	業務改善に向けた目標設定と振り返りが充分に機能していない部分がある。	業務改善に向けて目標設定と振り返りができる体制を作る。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	定期的にアンケートを取って、保護者の意向を把握するように努めている。	定期的にアンケートを取って、保護者の意向を把握するように努める。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	日々の会話を通して職員の意見等を把握するように努めている。	定期的に職員の意見を集約する機会を作るようにする。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	第三者評価は実施していないが、評価表により自己評価を行うように努める。	評価表を基に定期的に自己評価をするように努める。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎月一回、研修する機会を作っている。	内部研修や外部研修への受講を積極的に取り組んでいく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	令和6年4月1日に作成し、令和6年8月1日に更新した支援プログラムを公表している。	支援プログラムに基づき、支援の充実を図るように努める。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	アセスメントシートに基づいてアセスメントを適切に行い、モニタリングを通して子どもや保護者のニーズ等を把握し支援計画を作成している。	適切なアセスメントを行い、モニタリングを通して子どもと保護者のニーズ等の把握に努める。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員の共通理解の下で、支援計画を作成している。	職員の共通理解を図って支援計画を作成するように努める。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画を職員間で共有し、計画に沿って支援している。	計画に沿った支援が行われていることを確認していくように努める。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	インフォーマルなアセスメントツールはないが、子ども一人一人の特性に応じた評価をしている。	子ども一人一人の特性に応じたアセスメント評価をしていき、目標設定に活かすようにしていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	令和6年8月1日に作成した支援プログラムにより、支援計画に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の支援内容を設定している。	支援計画の「本人支援」、「家族支援」については適切な目標を設定しているが、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の支援内容については検討を要する。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	活動プログラムの立案はチームで行っている。	活動プログラムの立案はチームで行うように努める。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	活動プログラムが固定化しないように工夫していく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	宿題の支援については個別で行っており、集団活動は曜日によって活動内容を代えている。	個別活動と集団活動の課題を検討して、適切な支援を行うように努める。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援開始前には必ず打ち合わせを行うようにしており、チームで連携して支援を行っている。	支援開始前には必ず打ち合わせを行い、チームで連携して支援を行うように努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援終了後には必ず打ち合わせを行うようにしており、支援の振り返りを行っている。	支援終了後には必ず打ち合わせを行い、支援の振り返りを行うように努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の支援記録は必ずとっており、支援の検証・改善につなげるようにしている。	日々の支援の記録は必ずとるようにし、支援の検証・改善につなげるように努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年毎にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	半年毎にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行うように努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っている。	4つの基本活動のうち、「地域交流の活動」については検討を要する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	子どもの自己選択を支援の基本としており、自己決定する力を育てるよう支援を行っている。	子どもの自己選択を支援の基本とし、自己決定する力を育てる支援を行うように努める。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	定期的にサービス担当者会議や関係機関との会議が開催されていない状況がある。	定期的にサービス担当者会議や関係機関との会議に参加するように努める。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	隣接する児童発達支援事業所との連携は取れているが、その他の関係機関との連携は十分ではない。	地域の関係機関と連携して支援を行う体制構築を検討する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校との情報共有は保護者を通して行っている。送迎時においても情報を交換するようにしている。	学校との情報共有を図るため学校のホームページ等の確認をしていき、送迎時においても保護者からの情報を確認する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有するようにしている。	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有するように努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する事例がない。	放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、必要に応じて支援内容等の情報を提供するように努める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている。	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けるように努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	隣接する幼稚園の放課後児童クラブの子もたちとの交流（ドッジボール、サッカー、鬼ごっこ）を行っている。	隣接する幼稚園の放課後児童クラブの子もたちとの交流（ドッジボール、サッカー、鬼ごっこ）を行っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8	参加していない。	参加を検討する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時等に利用時の様子等を伝えており、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つようになっている。	送迎時等に利用時の様子等を伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つよう努める。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	8	家族支援プログラムや研修の機会等は設けていない。	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行うように努める。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	利用契約時に、利用契約書、重要事項説明書等を丁寧に説明するようにしている。	利用契約時に、利用契約書、重要事項説明書等を説明しているが、運営規程、支援プログラムについても説明するように努める。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	支援計画を作成する際は、子どもや家族の意向や要望を確認したうえで作成している。	支援計画を作成する際は、子どもや家族の意向や要望を確認したうえで作成するように努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得るように努める。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	モニタリング時において相談に応じるようにしているが、家族等の要望に応じて面談を行っている。	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言を行うよう努める。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	父母の会の活動や、保護者会等を開催し保護者同士で交流する機会を設ける等の支援はしていない。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしていない。	父母の会の活動や、保護者会等を開催し保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を検討する。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	「苦情処理要領」により、対応の手順を定めており、迅速に対応するようにしている。	「苦情処理要領」により、迅速に対応するように努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	HPやSNS等を活用することにより、定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信している。	HPやSNS等を活用することにより、定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信するように努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	「個人情報保護マニュアル」により、個人情報の取り扱いに十分留意している。	「個人情報保護マニュアル」により、個人情報の取り扱いに十分留意するように努める。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をするように努める。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っていない。	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業所運営を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、不審者対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しHP等で公表し、訓練を実施している。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、不審者対応マニュアル、感染症対応マニュアル等をHP等で公表しているが、広報が充分ではない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている。	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているが、業務継続計画（BCP）については周知を図るようにする。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認するように努める。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食物アレルギーのある子どもについて、保護者からの情報に基づいて対応している。	食物アレルギーのある子どもについて、保護者からの情報に基づいて対応するように努める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練等を行い、安全管理をした上で支援を行っている。	安全計画を周知し、安全管理に必要な研修や訓練等を行い、安全管理をした上で支援を行うように努める。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知するように努める。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討するように努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止委員会を定期的に開催し、職員の研修等を行い、適切な対応をしている。	虐待防止委員会を定期的に開催し、職員の研修等を行い、適切な対応をするように努める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束適正化のための指針を定め、身体拘束に対するマニュアルに従って組織的に対応している。	身体拘束適正化のための指針を定め、身体拘束に対するマニュアルに従って組織的に対応するように努める。	